

岡崎市農業振興計画策定に関するアンケート調査

アンケート実施期間 令和元年12月9日 ~ 令和元年12月18日
 回答者数 146名 (登録者数 477名 うち配信成功数 456名)

●性別

男性	100	68.5%
女性	46	31.5%
計	146	

●年齢

20代以下	0	0.0%
30代	12	8.2%
40代	22	15.1%
50代	39	26.7%
60代	30	20.5%
70代以上	43	29.5%
計	146	

Q1 あなたの家族構成を教えてください。

三世帯世帯	18	12.33%
親と子(二世帯世帯)	57	39.04%
夫婦のみ	60	41.10%
1人暮らし	10	6.85%
その他	1	0.68%
計	146	

Q2 あなたの職業を教えてください。

農林業	1	0.68%
自営業(農林業以外)	7	4.79%
自由業(フリーランス等)	4	2.74%
会社員	46	31.51%
公務員	3	2.06%
パート・アルバイト	14	9.59%
家事専業	22	15.07%
学生	0	0.00%
無職	41	28.08%
その他	8	5.48%
計	146	

Q3 農地の所有について教えてください。

現在、農地を所有している →Q4へ	11	7.53%
今後、相続等で農地を所有する可能性がある →Q4へ	14	9.59%
農地を所有することはない →Q5へ	118	80.82%
その他→Q5へ	3	2.06%
計	146	

Q4 農地を所有している(可能性がある)と答えた方にお聞きします。農地の利用方法を教えてください。

自身で耕作・営農をする	8	32.00%
貸借し、他の人に耕作してもらう	7	28.00%
宅地化する	2	8.00%
その他	2	8.00%
わからない	6	24.00%
計	25	

Q5 日頃、農畜産物を主にどこで（どのように）買いますか？（特に多い購入先を3つまで選択）

市内の青果店や個人商店	14	4.81%
市内のスーパーマーケット、生協店舗	134	46.05%
市外の青果店や個人商店、スーパーマーケット、生協店舗	26	8.94%
コンビニエンスストア	4	1.37%
市内の農産物直売所、庭先販売	57	19.59%
市外の農産物直売所、庭先販売	23	7.90%
生協等のグループ購入、宅配	21	7.22%
生産者からの宅配	3	1.03%
インターネット注文による宅配	5	1.72%
その他	4	1.37%
計	291	

Q6 岡崎市内産農産物を購入していますか？

している → Q7へ	98	67.12%
していない → Q8へ	48	32.88%
計	146	

Q7 Q6でしていると答えた方にお聞きします。購入する理由は何ですか？（複数選択可）

生産者が分かって安心だから	51	23.39%
地域の農業を守りたいから	40	18.35%
品質・味が良いから	20	9.17%
新鮮だから	72	33.03%
安いから	31	14.22%
その他	4	1.84%
計	218	

Q8 Q6でしていないと答えた方にお聞きします。購入しない理由は何ですか？（複数選択可）

直売所の存在・場所を知らないから	11	13.92%
直売所などが自宅の近くにないから	18	22.78%
近くのスーパーマーケット等には地場産コーナーがないから	22	27.85%
価格が高いから	5	6.33%
欲しい品がないから	3	3.80%
購入できる日や時間が限られるから	3	3.80%
生産者をよく知らないから	2	2.53%
特に理由はなし	10	12.66%
その他	5	6.33%
計	79	

Q9 岡崎市の農業について知っていたことを教えてください。（あてはまるものすべて選択）

岡崎市の約1割は農地である	16	5.80%
学校給食に地元の野菜を使用している	76	27.54%
農薬や肥料を減らした、環境に配慮した農業と安全安心な地元野菜の提供を推進している	24	8.69%
地産地消の促進等を目的として、産直施設を設置している	69	25.00%
地産地消イベントを開催している	62	22.46%
農林産物のブランド化を推進している	13	4.71%
新規就農者を積極的に募集している	3	1.09%
農林水産業の6次産業化を推進している	6	2.17%
「オカボー」は岡崎市農林産物ブランド化推進マスコットキャラクターである	7	2.54%
計	276	

Q 1 0 岡崎市内の農地についてどのように感じていますか？（近いと感じるもの3つまで選択）

今ある農地はできるだけ残ってほしい	86	28.57%
今よりも農地が増えてほしい	23	7.64%
郊外部でのまとまった農地は残してほしい	53	17.61%
中山間部の農地は残してほしい	38	12.63%
市街地部の農地も残してほしい	31	10.30%
市街地の農地は減っても仕方がない	30	9.97%
郊外部のまとまった農地もできれば開発してほしい	11	3.65%
中山間地の農地も農業以外に活用してほしい	9	2.99%
その他	5	1.66%
わからない	15	4.98%
計	301	

Q 1 1 農業・農地が持つ役割について、どのようなことに期待しますか？（重要と感じるもの3つまで選択）

新鮮で安全な農産物の供給	89	23.42%
学校給食等での、新鮮で安全な農産物の供給	38	10.00%
まちなかに農地がある景観風景	24	6.32%
農薬や化学肥料の使用を抑えた農産物、有機農産物栽培を推進	34	8.95%
うるおいのある環境（農地の緑での蒸発・蒸散による農地周辺の気温低下など）	32	8.42%
昆虫などの生物が生息する生態系の維持・保全	45	11.84%
災害発生時の避難先としてのオープンスペース	10	2.63%
市民農園・農業体験農園により農業にふれる機会の創出	17	4.47%
子どもたちが学校教育や情操教育の中で、農業にふれる機会の創出	40	10.53%
地域の特産物開発（ブランド商品の開発）	29	7.63%
農産物を活用した料理やイベント等の文化の伝承	6	1.58%
まちの「ブランド力」の向上	2	0.53%
障がい者や高齢者など多様な人々が共に働くことのできる職場としての農地	6	1.58%
その他	4	1.05%
特に重要性は感じない	4	1.05%
計	380	

Q 1 2 農業体験など、農とのふれあいについて、今後やってみたいことを教えてください。（複数選択可）

市民農園の利用	33	13.87%
農業体験農園の利用	25	10.50%
農業関連イベントへの参加	47	19.75%
自宅での野菜づくりや園芸	62	26.05%
ボランティアとしての農作業手伝い	10	4.20%
アルバイトとしての農作業手伝い	12	5.04%
農業法人等への就職（雇用就農）	7	2.94%
新規就農	1	0.42%
その他	5	2.10%
特にやってみたいことはない	36	15.13%
計	238	

Q13 次の農業関連施設について、「利用頻度と利用目的」、「利用満足度とその理由」をお答えください。

Q13-1① おかざき農遊館（東阿知和町）の利用頻度と主な利用目的

【利用頻度】		
週に3回以上	1	0.68%
週に1～2回	5	3.43%
月に1～2回	27	18.49%
年に1～2回	52	35.62%
利用したことがない	61	41.78%
計	146	
【利用目的】※重複したものはまとめてあります。		
野菜、米、卵、花、苗・種、肥料などの購入		
農産物が新鮮 農産物のほかにもお茶調味料があって利用しやすい		
盆暮れ正月と北部方面に用事がある時。		
生産者が友人で新鮮な野菜を提供しているため		
食事が安い		
ドライブのついでに。家族の送迎のついでに立ち寄る。自宅からは幸田のいこいの農園が近いのでそちらを利用する		
目的無く、単に覗きに行く程度。		
親に同伴して		
沖縄まつり		
一度行っておこうとして、行った。		
にんにくを買う（国産のにんにくはスーパーで買うと高い）		
農業支援センターで野菜づくり教室 受講した際ついでに寄る		
自転車での散策時に休憩場所として立ち寄る。その他イベントに参加の場合もあり。		
めだかを見に行きます。		
出先の帰りに立ち寄る。		

Q13-1② おかざき農遊館（東阿知和町）の利用満足度とその理由

【利用満足度】		
満足	16	18.82%
やや満足	31	36.47%
やや不満	22	25.88%
不満	4	4.71%
わからない	12	14.12%
計	85	
【満足・やや満足と答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
種類が充実している		
新鮮で安価なものが購入できる		
活気があるし、店員さんが親切		
季節感を感じる商品が多い		
農業使用の少ない野菜の購入。旬の野菜の購入。		
目にしたことのない農作物が出品されることがあり、楽しい		
自宅から近い。新鮮、作り手がわかるから		
洋野菜などの種類が有るとよい。		
もつとお値打ちになるとよい。		
駐車場が混むことが多い		
【不満・やや不満と答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
もう少し広いほうが良い。		
地元の農産物の種類が少なく感じる。新鮮さも少ない。		
オープン当時よりも見ごたえがなくなった。		
以前は野菜の値段がスーパーより格安だったのに、最近はスーパーよりも高い値段が多い		
駐車場の狭さと価格的なメリットが余りない		
遠い		
【わからないと答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
利用頻度が少ないので感じない。		
普通に買物をしているだけで満足、不満など思わない		

Q 1 3 - 2 ① ふれあいドーム岡崎（下青野町）の利用頻度と主な利用目的

【利用頻度】		
週に3回以上	0	0.00%
週に1～2回	3	2.06%
月に1～2回	13	8.90%
年に1～2回	32	21.92%
利用したことがない	98	67.12%
計	146	
【利用目的】※重複したものはまとめてあります。		
野菜、果物、花、苗、肥料の購入		
たまたま通りかかったので利用した		
イベント		
南部方面に用事がある時。		
自転車での散策時に休憩場所として立ち寄る。その他イベントに参加の場合もあり。		

Q 1 3 - 2 ② ふれあいドーム岡崎（下青野町）の利用満足度とその理由

【利用満足度】		
満足	10	20.83%
やや満足	16	33.34%
やや不満	9	18.75%
不満	6	12.50%
わからない	7	14.58%
計	48	
【満足・やや満足と答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
大体欲しいものがあるから		
新鮮な商品が多いから		
スーパーには並ばない商品があること。		
生花、米、魚が充実している		
野菜は新鮮で安く、種類が多い。		
もう少し品数を増やしたほうが良い		
ディスプレイがもっときれいならよい		
駐車場が狭い		
【不満・やや不満と答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
商品の陳列をもっと工夫して欲しい		
農遊館やドームも同じように、設備が古いし現代的ではないリニューアルするべき!!		
安くない		
農遊館よりやや規模が小さいかな?		
品数が少ない時があるから。		
野菜の鮮度はいいが、場所が不便。ドーナツ屋さんも行く目的の一つ。		
遠い		
地元産品が少ない		
【わからないと答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
普通に買物をしているだけで満足、不満など思わない		
たまにしか行かないので良く分からない		
自転車散策の途中休憩場所利用で、買い物目的ではないため分からない		

Q 1 3 - 3 ① 道の駅藤川宿（藤川町）の利用頻度と主な利用目的

【利用頻度】		
週に3回以上	0	0.00%
週に1～2回	0	0.00%
月に1～2回	13	8.90%
年に1～2回	70	47.95%
利用したことがない	63	43.15%
計	146	
【利用目的】※重複したものはまとめてあります。		
イベント参加（いちごフェア、福祉祭り）		
特産品購入		
えごまの五平餅を購入するため		
近場で利用する機会がある		
国道1号線通りにあり、時々立ち寄ることがある		
新鮮な野菜を買う。		
フードコート・コンビニ利用、トイレ休憩		
目的無く、出かけたついでに覗く。		
むらさきかんを利用したついでで買い物		
お米や生鮮野菜の購入		
近隣へ行った際、食事・買い物のため立ち寄る。		
紫麦うどん、そば購入		
自転車での散策時に休憩場所として立ち寄る。その他イベントに参加の場合もあり。		
たまに立ち寄り、未体験の農産物を購入する。		
子どもが電車を見たがるので、オヤツやご飯を食べながらにはちょうどいい。		

Q 1 3 - 3 ② 道の駅藤川宿（藤川町）の利用満足度とその理由

【利用満足度】		
満足	14	16.87%
やや満足	26	31.32%
やや不満	24	28.92%
不満	10	12.05%
わからない	9	10.84%
計	83	
【満足・やや満足と答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。		
買いたいと思うものがたくさんあった		
鉢植えもののレベルが高い。手工芸品もアートに昇華しているものもある		
いつ行っても全体的に綺麗に管理されてる。五平餅が美味しい		
安生農林の肉が良い ほかに理由はない		
見ていて楽しい、ミニストップがある		
岡崎のお土産をチェックできる		
岡崎の観光情報が豊富		
むらさき麦の食べ物がおいしかったので		
商品はそれなりに充実しているが、ポイント付与があると良い		
なんとなく楽しい。野菜も美味しい。		
変わった野菜がある。野菜以外も魅力的		
東海オンエアのパネルがある場所だから		
食事が出来て良い		
新鮮なものが多く良い		
閉店時間が早いのが少し残念		
量を増やしたほうが良いと思う		
駐車場の入り方が複雑		
地元野菜の特徴のアピールに努力している。		

【不満・やや不満と答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。
買いたいと思わない、品数が少ない
コンビニ利用のみ 店舗内は寂れた印象
置いてある野菜の種類、肉、魚が少ない
交通手段が少ない
地場産品の品揃えが少なく感じる
規模が小さい、食堂が狭い。
売り場面積がやや狭い。値段も他店等に比べやや高い。閉店時間が早い。
駐車場への新入がややこしい
地ビールが品切で購入できなかった
観光用？地元の人用？よくわからない。地元用なら価格が結構高いね。
やはり混んでいる。価格が高い。
利用し辛い
他の道の駅と比較して、特色がなく規模も小さい。目的地になり得ない。
地元の農作物のエリアが少ない。音羽蒲郡のひまわり農協を参考にして欲しい。
今時ウォシュレットの無いトイレを作る神経が分からない
商業施設としての魅力がまだまだ少ない。
【わからないと答えた方の理由】※重複したものはまとめてあります。
通路が狭い 店が全体的に小さい 買い物しにくい
利用頻度が少ないため
郊外からの帰りに寄るため、野菜などが残り少なくなっている。
観光ガイドをしているが、昔の雰囲気は少しする。
不満も満足もない
自転車での散策時に休憩場所として立ち寄る。その他イベントに参加の場合もあり。

Q14 岡崎市の農業への期待、農業施策や農業全般についてのお考え等をご自由にご記入ください。

※重複する内容はまとめてあります。

主人が藤川宿へ野菜を提供しています
JAカードを共通化してほしい。JAカードを入会するのに岡崎は1000円取られる。他市では無料で入会することが、できる。
安城が農業県愛知を支えているとの認識で、地元岡崎がとの認識はなかった。農業で働いてみたい、農業で短時間勤務や定時帰りできるからパート勤務してみたいと考える人はもっといると思うので、就労に結び付けるコンサルティングができるといい。育てる、皆で調理する、食べるということは教育的視点からも役立つ。生活習慣病の生活指導にも役立つと思う。
6次産業化、地産地消はどんどん進めていただきたい。ただ需要がなければ成立しないので、需要を高めるための方策を実施してほしい。
いつも利用しているのは、JA長瀬のグリーンセンターです。生産者の名前が書かれたラベルがあり安心です。何よりも安くて新鮮で美味しい野菜が魅力です。農業も工業も商業もバランスよく発展することを願います。それが、魅力的な街であり、環境や子どもの教育に良い影響があるからです。農業に従事者の高齢化が進んでいると思います。ぜひ若い方に農業の良さをアピールして、政策として援助をお願いします。
市街化調整区域が多すぎ！鉄道の駅を中心とした市街化区域と以外の区域をメリハリつけて整備して欲しいこのままでは川崎市のようなスプロール現象になる30年後の人口構成と産業構成を意識したランドデザインが必要だと思う
少子化なのに、新規就農のハードルが高すぎる。後継者問題など離農者の方が多い現状。「JA栄えて農業衰退」 准組合員問題。そしてTPP。日本の農業の未来は暗い。
もぎ取り体験出来る施設や種類が増えたら嬉しい
今建設中の人道橋は無駄の何者でもない。こんなお金があるならば、農業の振興、自然環境の整備、岡崎市が使用する電力の自然エネルギーへの転換、等々に使用すべきです。
市内でどの様な農畜産物が生産されているかのアピールが少なすぎる
街中の景観から、どんどん農地が減っていくのを感じるとき、寂しさや虚しさを感じます。郊外や市街地に関係なく、農地は残っていて欲しいものです。後継者問題などもあるでしょうから、出来ることなら市がこれ以上継続不可能な農地を買い取り、農業法人として指導・監督・経営の手伝い(市内の学校の給食材料として買い取るなどルート)の確率)してでも農地を存続させて欲しいです。お百姓さんを守る仕組みが欲しいです
安全な作物を供給してほしい。
岡崎市の農産物への定期的な継続支援と発展を希望します。また自分でも農業体験を経験したいと思います。

美味しく安全な野菜を作っていただきたい。変わった野菜もあるといい。
市街地での農地は歓迎するが、市街地での農業散布は事前に地域住民に知らせてほしい。洗濯物や子どもたちが遊んでいる中で、農業散布をされたことが何度もあり不安。その後体調を崩してしまう
保守的な風土ではあるが、東岡崎に産直マートを設置するなど、開発して行ってほしい。
岡崎市に17年ほど住んでいるが、イメージとして岡崎市と農業が残念ながらなかなか結びつかない。学校給食への地産品利用は今後も続け、子供たちへの農業教育に利用してほしい。
どのスーパーにも地元野菜のコーナーが有ると嬉しい
周りを見ても就農者は高齢者 農業に生きがいのある政策が待たれます 今は農業で生計は立てられない 各施設とも不便
岡崎と名の付く農産物のブランド化の拡大
温暖化で今まで以上にひどい洪水が発生する。低地に住居があるのは危険。山地でも山崩れがある。今までなかったからなんて経験で考えるのは危険。農業だけでなく、もっと広い立場で、土地の利用を考えてほしい。
農業にはツライ労働のイメージが残る。作物などを育てる楽しさをアピールし、次の世代の担い手を増やす必要が有る。農地を転用するコトはせず、広く市外からも農家の引継ぎ手を受け入れる策が必要。
競争原理のもと、努力している農家の商品は購入したいが、補助金ありきの農業であれば保護するのはやめて欲しい。
不耕作地を市民農園として安価で耕作してもらおう
農業が衰退しないようにして欲しい
地元の農作物がこれからも継続して生産して欲しいです。若い世代の後継者が育つ環境を整えて欲しいです。
いつも安城に行く。野菜の種類や販売数が多い。地の物も多い、野菜も果物も。岡崎もそうになったら買いに行く。
ポイントカードのシステムをアプリで使いたい。
田んぼが減り、夏に蛙の鳴き声が聞こえないのが淋しい また、鴨農法が近くで見られたが、最近はやってないのが淋しい 住宅地が必要なのは分かるが、農地は残してほしい 化学物質過敏症なので、もっともっと無農薬有機栽培の野菜が手頃に見えるようにしてほしい
1. 農業生産者の高齢化と後継者不足が深刻化してきている。代理生産者の確保等早期な対策が必要だと思います。2. 耕地面積の狭い農地が多く見られます。また耕地整理がなされていない地域もあって、作業効率が悪く無駄な労力を要する事態となっていることもあって、生産性が低いのではと思われまますので、抜本的な改革が必要なのではないかと思えます。
・岡崎市は新鮮野菜の街となってほしい。
岡崎市が農業施策をしている事は知らない、JAが主体になっていると思っている。JAも愛知と三河でカードが違い大変不便である。
アルバイトを積極的に雇ってほしい派遣社員をたくさん雇ってほしい
地元の農業を応援したい気持ちはあるが、食材の買い物はスーパーでまとめてしてしまっ方が楽なので、直売所にわざわざ行ったりはできないと思っている。ただ、時々直売所に寄って色々見たりするのは好きです。うちではよくにんにくを使うのですが、スーパーで国産のにんにくを買おうとすると高いです。にんにくを買う時は直売所に行きたくなります。
将来の人口減を見通して、農地を含む環境と人の暮らしのバランスを考慮したコンパクトシティ化を目指して頂きたい。
各地の紹介
農業の重要性をしっかりと認識すべき。農業支援に対する姿勢が弱いような気がする。
高齢・獣害などのため放棄してある畑があるため、市が借り上げて獣害対策・水・駐車場を整備して退職者など興味がる人たちに貸し出してほしい。
子供が農業、土などに触れる機会をたくさん設けて欲しい。小学生以上、などの募集はあるが、未就学児は少ないように思うので。
市街化地域のなし崩しの縮小は絶対避けてほしい。農業従事者にとっても用水路、排水路の維持が困難になるから
もっと活発に農業についてのイベントなどがあってもよいかなと思います。農業のイベントでもオカザえもんを起用したりとか。
田んぼだらけだった井田町に田んぼはなくなったと聞いた。これ以上の農地縮小はやめてほしい。
大げさな言い方ですが、中心的な役割を果たすべきJA職員の意識改革と教育をしっかりと推し進めるべき。

農地貸し出しによる農家以外の利用促進
岡崎市の農業は大切にすべき
とにかく安全
若い人にも興味を持ってもらえる農業のあり方をたくさん提案して下さい。
地元産ブランドに力を入れて、特産品を増やしてほしい。ブランド力だけでなく、品質の高さと他の農産物との違いが明確になるように、九条ネギとか下仁田ネギのように、より特徴がはっきりした商品を開発（改良？）、生産してください。
安城に比べてイメージが大きく劣る、なぜだろう？
全く携わった事が無いので判らない。
農業は分からないが、施設のトイレを整備すべき。トイレは文化のバロメーター。岡崎市の施設はとても貧しい。
最近では病養生活で趣味の自転車散策が出来ず、農遊館、ふれあいドーム、道の駅藤川などに立ち寄ることが無くなった。生活圏の範囲内が利用の前提になると思う。特に高齢者で夫婦2人暮らしなど少人数の場合、産直、無農薬有機栽培など特徴を知っていても利便性が優先する。（生活圏内）
申し訳ありませんが、現状では、農業に関心が有りません。
安価でいろんな場所でイベントしないとだめかな、面倒があるから引っ張りだしたいね
地産地消の推進と新鮮と安心ができる農作物の提供
取り組み自体を知らなかった。まずは市内へのアピール、ブランド化を目指してほしい。
売れ残りを市内の施設に届けていることは、とてもよいことだと思う。廃棄しない方法を考えてほしい。
若い人にも農業を担ってほしい。
新鮮で美味しく安心なものを安価で購入できたら良い。だけど、岡崎の農産物で特産品は何なのか、私は知りません。
地元産の美味しい野菜を使って、子供達の給食に出して欲しい。また子供達にも農業体験をして欲しい。あと線路脇のフェンス内や乙川河川敷で勝手に農作物を作っているのは、そちらは是非やめさせて欲しい。
市民農園の作付面積を縮小し、使用料の低減と参加チャンスの拡大が必要
現在、JA提供のふれあい農園を利用して若干の季節野菜を栽培している。またNPO法人おかざき農遊会にも参加して野菜作りの知識を吸収している
日常考えたことがありませんが、毎年西瓜を訪問販売している近所の農家があり楽しみにしています。
保育園、学校給食で無農薬野菜を使用してほしい
出来るだけ機械化がはかれるよう、農地の集合化が必要。家庭菜園をしたい人はけっこういると感じるので、何らかの便宜が図れるとよい。
イノシシ、猿等の被害に対する作物の防御と環境の整備（美観を含む）先日までやっていた畑が被害にあい別の場所に引っ越しました。道路のあちこちが掘りまくられ岡崎のきれいな街がだいなしです
おかざき農遊館等の、販売価格がさほど安くない。むしろ、高いことも散見される。
さんちゃん農業の存続も必要と考える。
地産地消が望ましいと思うので、これからも農家の方々の若い世代の後継者を育成し続けてほしいです。
個人的に法性寺ネギが大好きです、もっと広めれば良いと思います。
農産物の品質は水による影響が大きい。乙川水系、矢作川愛知用水からは満足な作物が収穫できますが時々、岡崎の野菜に味の悪いものがあります。市内中心部、南部では品質の良い野菜が難しいのではないのでしょうか。山間部に期待したい。
今は農業より「開発」の名の下に農地を売りがっている人が多いのは周知のことです。これは何故なのかを考え、農地を売らなくてもよい政策をとっていくことが大切だと思います。
岡崎市は農業も工業地をよんでくるのもすべてが下手なイメージ！！安城市はすべてが順調に見えるけど
生産者の姿が見える販売施設を今後とも維持して欲しい。
子供が農業に興味を持てるイベントを増やして欲しい。そうすれば必然的に大人の参加も増え、岡崎の農業への関心も高まると思います。

● Q 1

夫婦と夫の母親

● Q 2

※重複する内容はまとめてあります。

大学教員
賃貸業
年金生活者
退職者
市民公益活動
看護師

● Q 3

農地は所有してないが稲作を行なっている。
老後に農業をやってみたい
J Aから農地を借用して野菜の栽培をしている

● Q 4

山地で遠い。イノシシが荒らしているので、耕作は無理。
J Aから10坪借用中。

● Q 5

シヨクブン宅配
J Aの農地10坪を借用し、一部の野菜は耕作中。
道の駅
知り合いから貰う

● Q 7

そのお店で売っているから。
特に理由なし
地産地消で行きたい、ただし帰るときだけです。
欲しい農産物を手に入れる為

● Q 8

商品が悪い
市外の直売所の方が品揃えが優れ、時間帯による品切れや営業時間などが優れているから。
妻に任せているから
意識していない為
現金のみが多いから

● Q 10

関心がない
名ばかりの農地はいらない。
ある程度の競争原理のもと淘汰されることはやむを得ない
農地を宅地開発していくのはもうやめて、空き家を活用するなどしてこれ以上農地を減らさない取り組みをして欲しい。
高齢・獣害などで放棄してある農地は、市が借り上げて約20坪程度に分割して貸してほしい。

● Q 11

関心がない
良質な水が確保されるところに推進すべきと思います
子供に食育ができる
災害時での食料の供給

● Q 12

※重複する内容はまとめてあります。

農地の集積化
家の畑で野菜を作っている
農地を借りて家庭菜園実施中

☆アンケート回答にご協力いただいたみなさまへ

この度は、アンケートにお答えいただきありがとうございました。

岡崎市では、農業振興発展のための基本理念、基本指針及び基本的施策を網羅した農業振興計画を策定します。今回のアンケートでいただいたご意見をふまえ、計画の策定を進めてまいります。